石神台 防災かわら版

石神台自治会防災部
自主防災委員会
広報班
第６１号
令和 ２年 １月

新年にあたって

防災部長　　宮司臣仁

昨年は、台風の被害が相次ぎ非常に大きな被害を各地にもたらしました。この石神台でも、強風による停電・倒木や家屋の破損の被害が確認されました。自然災害は他人事ではないと広く認知され、どうやって自らの命や財産・愛する人を守り抜くかを真剣に考え、行動していかなければと感じたはずです。

災害に対する事前の準備・防災の予備知識があればゼロとは言えないですが、被害を最小限にすることが出来るはずです。現在、防災活動や情報の普及が多くされる様になりました。是非、積極的な訓練の参加や防災情報の共有を行い、協力して助け合える環境を築いていきましょう。

11/9(土)、大磯港で津波対策訓練！

― 石神台では土砂避難訓練 ―

11月9日、9：03の緊急地震速報を合図に大磯町の「津波・土砂避難訓練」がありました。石神台はハザードマップで土砂災害危険区域街区を中心に「安全避難と確認、町への報告」という短時間訓練を実施、52人が参加しました。その後9：30～11：30まで大磯港を会場とする『津波対策訓練』（神奈川県・大磯町主催、平塚・二宮共催）に20名が参加しました。大磯港では、消防、警察、自衛隊、海上保安庁などによるヘリコプターや船舶による救出訓練や海難・物資救援に活躍する(株)トライアングルによる物資輸送訓練が展開されました。訓練にはドローンも参加し活躍していました。岸壁には観覧席も設けられ、町内各地から大勢の見学がありました。

11/10（日)、石神台防災訓練を実施

11月10には消防署員と危機管理室の指導、見守りを受けながら石神台防災訓練が行われました。はじめに質疑応答。**質問** −①消火器の噴射時間は？②消火器は用途別があるのですか？③ワンポイントアドバイスは？…。**回答** −①15～20秒です。②家庭用は全対応型が多いが確認しておくこと。③ガス台から離れるときは火を消すことです…。

それから消火器訓練をみんなでやりました。

ＡＥＤ使用訓練は、今回は模範実技の見学となりました。AED使用前の心肺蘇生にあたっては、①呼吸の確認は胸や腹部の動きが10秒間ないこと。②人工呼吸は「省略でもよい」と説明がありました。最後に危機管理室の方から感想が述べられ、「若いリーダーに頼もしく思った。消火活動に全員参加もよかった。訓練は繰り返すことが大事です。」と激励されました。

にこにこマークは無事の印

みんなで出そう黄色い旗

毎月の第１土曜日 午前中

２月は１日
３月は７日
です。
「いざ」という時にあわてない訓練をしよう！